

2023年12月
(No.105)

あこう社協だより



赤穂市における、ひきこもり支援の現状 ゆっくりと、自分のペースでいいんだよ ……	2P
令和5年度福祉作文入選者決定！ ……	4P
福祉作文小学生の部大賞作品紹介 ……	5P
まち発見！あこう福祉ニュース ……	6P
各種おしらせ ……	7P
歳末たすけあい運動 ……	8P

4年ぶりの全面開催！

11月19日(日)、「第39回しあわせフェスティバル～フクシふれあいまつり～」を開催し、たくさんの方が来場されました。屋外ステージや模擬店、屋内の展示や体験コーナーなど、さまざまな「福祉」に触れ、ボランティアの輪を広げる機会になりました。

赤穂市における、ひきこもり支援の現状 ゆっくりと、自分のペースでいいんだよ

ひきこもりとは

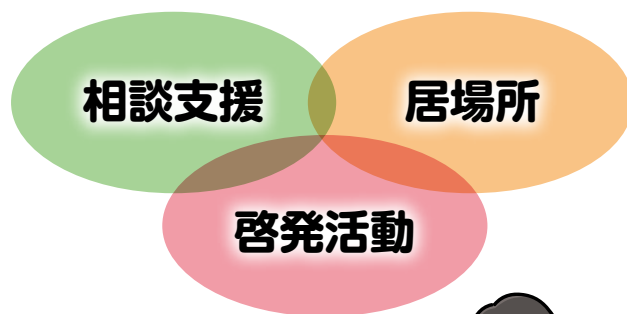
仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流がほとんどなく、6カ月以上続けて自宅で生活している状態をいいます。ひきこもっているからといって、必ずしも全く家から出られないばかりではなく、買物は行くことができる方など、実態はさまざまです（広義のひきこもり）。そのほとんどが、社

会からの孤立につながると考えられ、赤穂市内では、広義のひきこもり状態の方が約500人いると推計されています。

主な原因としては、学校や職場でのストレス、家庭内でのトラブル、自己肯定感の低下などが挙げられます。また、社会や現実に対する不安感や精神疾患なども原因の一つと考えられています。

赤穂市ひきこもり対策推進事業

赤穂市では、行政と社協で協働し、事業を推進しています。その内容は右記の3つの柱があり、相談窓口の設置や当事者の居場所づくり、市民の理解促進のための啓発活動に分かれています。



当事者の声

29歳男性から、お話を聞きました



24～25歳の頃、当時していたバイトの作業で重い物を持っていた影響があり、肘を痛め、休みがちになった。そのことで、職場の人に迷惑をかけているのではないかと、という気持ちがだんだんと膨らんでいき、退職した。

退職後は、行ってもまた続けられないのではないかと、という気持ちがあったので、すぐに就活をしなかった。ただただ、ゲームをして暇をつぶしていた。その間、母から「仕事をしなさい」「外に行った方がいい」などと言われることが、一番嫌だった。どうしていいかわからないときに、そのような言葉を投げかけられるのは、辛かった。

外に出るきっかけは、母が相談し、家に「え～る」の人たちが来たこと。母に対して「何で呼んだの？」という気持ちが強かった。その後も、時々訪問に来て、チラシを置いて帰っていた。最初は面倒だし、嫌だという気持ちがあったが、少しずつ気持ちに変化が出てきた。

相談に行くようになって、「みんなのいえ」で当事者と交流できたことは、うれしかった。一緒

に餅つきをしたりゲームをして楽しかった。

現在の生活の中で、自分で感じる変化は、外に出る抵抗感が減ったこと。新たにバイトを始めて半年以上経つが、職場の人は声かけをしてくれる人が多く、仕事内容も自分に合っていて、給料をもらえるので、続けていきたいと思っている。

当事者として、家族に対しては、あまり色々と言わないでほしいと思う。といて、何も話さずにいるのではなく、ただ普通に接してほしい。当事者に対しては、「ひきこもりの人はいっぱいいる。頑張っている人もいます」と伝えたい。



あなたの「きもち」を応援 社会福祉課相談窓口「え～る」

赤穂市では、ひきこもりの相談以外にも、「生活費に困っている」「仕事が長続きしない」などのさまざまな困りごとについて、お話を聴き、適切な支援につながるお手伝いをする「え～る」という窓口を設置しています。

そこでは、生活困窮者のうち、就労に向けた準備が整っていない方を対象に、ジョブトレーニングに取り組み、定期的に商店街清掃などを行い、自立に向けた訓練をしています。



● 連絡先

- ・生活困窮者自立相談
(ひきこもり含む生活全般)
TEL 0791-43-6986
- ・障がい者基幹相談支援センター
TEL 0791-43-6837
- メール(共通)hogo@city.ako.lg.jp

自分らしく過ごせる居場所 みんなのいえ

みんなのいえは、外出しづらい、社会と関わることに不安があるなどの状態の方、またはその家族がホッとひと息ついたり、自分の家のように自由に過ごすことができる“地域の居場所”です。不定期でカフェや女子会を企画し、利用者同士が交流する機会を設けています。

- 日 時：毎週月～金(祝日・年末年始を除く)
午後1時～4時
- 場 所：赤穂市塩屋656-17(旧塩屋郵便局近く)
※予約不要、出入り自由、見学随時可能



ケーキ作りや
ネイル体験など、
やってみたいことの
お手伝いをします！

ひきこもり啓発講座 参加者募集

- 日 時：令和6年1月22日(月)午後2時～4時30分
- 場 所：総合福祉会館 3階集会室
- 対 象：当事者／経験者、家族、支援者
その他関心のある方 100名
- 参加費：無料
- 内 容
 - ①報告：赤穂市のひきこもり支援事業について
 - ②講演

「経験者が語る ひきこもり
～ 解決ではなく共に在ること～」

講師：一般社団法人ひきこもりUX会議

代表理事 林 恭子 氏

- 申 込：下記までご連絡もしくはQRコードから申込
※当日参加も可能ですが、定員に達した場合は、入場をお断りすることがあります。



◆ 講師プロフィール ◆

高校2年で不登校、その後30代まで断続的にひきこもる。信頼できる精神科医や同じような経験をした仲間達と出会い少しずつ自分を取り戻す。

2012年から、「自分たちのことは自分たちで伝えよう」と“当事者発信”を開始し、イベント開催や講演、研修会の講師などの当事者活動をしている。

著書に『ひきこもりの真実—就労より自立より大切なこと』（ちくま新書）、『「ひきこもり」の30年を振り返る』（岩波ブックレット）他。

令和5年度福祉作文 入選者決定!

身近な福祉活動をテーマにした作文を募集したところ、小学生・中学生・高校生および一般市民より、計277点の応募をいただきました。慎重な審査の結果、次の方々が入選され、12月9日(土)に開催される「障がい者週間ともに考える市民のつどい」の席上で、以下の方々を表彰されます。(当日は、各部大賞・特選・入選者のみ表彰)

※敬称略

【小学生の部】

大賞

おおくろ こはる
大黒 心春 (赤穂小学校6年)

特選

はやし よしあき
林 慶明 (塩屋小学校2年)

入選

たにやま りんか
谷山 琳香 (城西小学校5年)

もりつじ あおい
森辻 葵 (高雄小学校5年)

佳作

かいえ ださわ
海江田紗和 (赤穂小学校4年)

にしがき
西垣みのり (城西小学校6年)

しばはら さち
柴原 幸 (塩屋小学校6年)

やました めい
山下 芽衣 (赤穂西小学校5年)

にしぐち ひな
西口 陽菜 (尾崎小学校6年)

なかま ちさと
中間 千智 (御崎小学校2年)

うえやま すずな
上山 鈴捺 (坂越小学校4年)

おおち けい
大地 慶 (高雄小学校5年)

たなか ゆうね
田中 結音 (有年小学校5年)

みわ
三輪みのり (原小学校3年)

【中学生の部】

大賞

きしだ ゆね
岸田 優音 (赤穂西中学校3年)

特選

やまもとまなみ
山本真奈美 (赤穂東中学校2年)

入選

やまのくちみさき
山之口美咲 (赤穂西中学校3年)

ごとう ゆあ
後藤 結愛 (赤穂東中学校1年)

佳作

はやし ななこ
林 那菜子 (赤穂中学校3年)

とよおか はやと
豊岡 悠燈 (赤穂西中学校2年)

はたもとまりか
畑本茉莉香 (赤穂東中学校2年)

みやもと はるか
宮本 暖加 (坂越中学校1年)

おがわ たくむ
小河 拓夢 (有年中学校1年)

【高校生以上の部】

大賞

きしま ゆうせい
木島 優成 (赤穂高等学校1年)

特選

つぼもと こと
坪本 光叶 (赤穂高等学校1年)

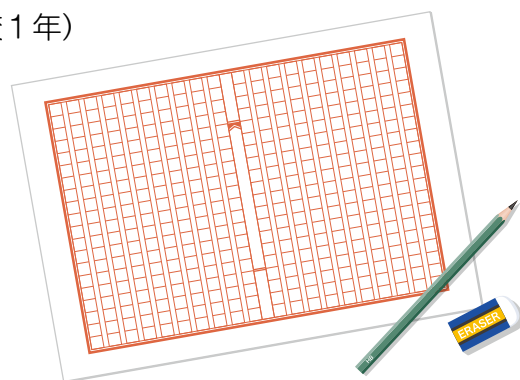
入選

おおたか りかな
大高 莉奏 (赤穂高等学校1年)

さいとう ちえ
齋藤 智栄 (一般)

佳作

しみず なつき
清水 菜月 (赤穂高等学校2年)



ご応募いただいた皆さまには、深く感謝申し上げます。入賞作品については福祉作文集にまとめ、市内の学校や福祉施設、医療機関へお届けするほか、福祉会館でも配布し、広く福祉活動の場で活用させていただきます。小学生の部大賞作品を次ページに掲載しています。他部大賞作品は、次月以降に掲載します。そちらもぜひご覧ください。

大賞作品紹介

小学生の部大賞

「普通」ってなんだろう

赤穂小学校6年 大黒 心春



この夏休みに、私の弟は入院しました。自分の細胞を別のところに移植する手術をするためです。弟はICUという、命が危ない人が集中的に治療するところに入ったので、とても心配しました。

私の弟は、口唇顎口蓋裂症という病気を持って生まれてきました。この病気は、上唇や上あごがくっつかずに、鼻と口がつながって生まれてくる病気です。弟の場合は、耳の形も左右で少し違っていたり、一歳を過ぎるまではほとんど耳が聞こえていなかったりもします。今も少し耳が聞こえにくいです。しゃべるのは好きだけれど、か行、た行、さ行など、いくつか発音しにくい音もあります。特に、しゃべりたいことがたくさんあって早口になっている時は、ますます相手には聞き取りにくいです。でも、私たち家族はたいがい、弟が何を話しているのか聞き取れます。そして、弟はいつもニコニコと明るく、周りを笑顔にしてくれます。

弟が生まれてきたのは、私が幼稚園に通っている時です。私も幼かったので、あまりはっきりと覚えていませんが、初めて弟に会った時「普通」の赤ちゃんと違うと感じました。それは、たぶん、口と鼻の形が「普通」と違ったからだと思います。弟は昔からうどんが大好きで、赤ちゃんの頃、鼻が口の中とつながっていた弟は、大好きなうどんを食べると、鼻からうどんが出てきていました。でも全く気にする素振りもなく、うれしそうにうどんを食べていたのを覚えています。

そんな弟は元気に五歳になり、この夏、四回目の手術をしました。今回の入院は、途中で父と母が交代することになりました。それを聞いた弟が、「え、おとーさん入院初めてやったら何も分からへんやろ、大丈夫？」と言って、自分のことではなく、今まで一度も入院をしたことのない父のことを心配し

ていました。父が「お父さんわからんから教えてな。」と言うと、続いて母も「いろいろ教えてな。」と。私は思わず笑ってしまいました。両親や上の弟たちも笑っていましたが、でも、いつも明るく楽しい雰囲気にしてくれる弟も、やはり、入院が近くなると「入院いやだな。」と言っていました。しかし、入院当日に、荷物の確認をしている母に向かって、「おーさん早く！新幹線行っちゃう。」と言い、大好きな新幹線に乗ることを楽しみに、笑顔で家を出ていくのを見て少しほっとしました。手術が無事終わって、とても安心したけれど、いろいろなチューブにつながれ包帯をまいてある弟を見た時、とてもしんどそうで、胸がいっぱいになりました。元気になって退院した時は、心のきりが晴れるようにうれしくなり、弟を抱きしめました。

私は弟を通して、「普通」について考えることがあります。弟にとっては、鼻からうどんがでてきていたことが普通。今も少し耳が聞こえにくいけれど、それが普通。発音が難しい音があることが普通。唇が割れて生まれてきたけどそれが普通。私は、弟が生まれてきた時、「普通」の赤ちゃんじゃないと思ったけれど、弟にとっては、これが「普通」なんだと気づかされます。

弟と私も「普通」は違うように、みんな「普通」はそれぞれ違います。だから、自分の「普通」を相手に押し付けたり、相手の「普通」を批判したりせず、お互いの「普通」を認め合うことが大切だと思います。

弟は、遠いところの病院に通ったり、言葉の勉強をしに行ったりと一生けん命努力しているので応援してあげてください。弟は、私や、家族を笑顔にしてくれます。ずっとずっと元気いっぱいまでいてね。

まち発見!

あこが福祉ニュース



にぎやかな祭り再開!

11月5日(日)、三世代交流事業の助成金を活用し、有年原で「秋祭り」が開催されました。子ども神輿の練り歩きや獅子舞披露、もちまきなど、大盛り上がりの祭りが地域に戻ってきました。



おじゃみでビンゴ!

11月11日(土)、坂越を元気にする会主催の、おじゃみ(お手玉)をマスに投げ、ビンゴを目指すニュースポーツ「おじゃビンゴ」で大会が行われ、三世代が久々に集まり、賑やかに交流しました。



一打ごとのふれあい

11月11日(土)、市身体障害者福祉協会主催の「福祉ふれあいグラウンドゴルフ大会」が開催され、約60名が参加しました。各チームに分かれ、「ナイス!」「惜しい!」と声をかけ合い、あっという間の16ホールでした。



おたがいさまを広げよう

11月21日(火)、ふれあい・いきいきサロン「寺子屋高須」にて、研修会を行いました。「助け合いは、できることの交換」「人のために自分の健康、地域づくりにもつながる」ことをお話し、さっそく肩叩きで助け合いを実践しました。



「地域密着」の集まる場

11月21日(火)、砂子集会所にて、「あこが典礼館花みずき」主催のコミュニティカフェが開催されました。今後も地域の新たな交流の場として、毎月第3火曜日午後2時30分~開催予定です。

受賞

兵庫県社会福祉協議会会長表彰

後藤 和子さん(尾崎・清水町)



社会福祉協議会の役員として、永年にわたり勤続し、社会福祉活動の向上と充実に顕著な功績をあげられました。

おめでとうございます
ございます

ひょうご県民ボランティア活動賞

手作り文化伝承の会



赤穂義士祭の義士行列出演者用のわらじを制作し提供するなど、地域の伝統行事を支えています。

介護保険について考えよう！ ケアマネジャー編

●デイケアとは？

デイケアは、「通所リハビリテーション」と呼ばれている、介護サービスです。利用者が日中に施設を利用するという点はデイサービスと同じですが、医師から専門的なりハビリが必要だと判断された方が利用し、リハビリを行うことに重きを置いています。



医師の指示のもと行われる
専門家のリハビリ

+



入浴
レクリエーション
身体にあった
食事対応
(減塩食・糖尿病食)
など

賛助会費 ありがとうございました

(敬称略)

【個人】岡田 勲 山本 吉広

【法人】スイーツ+カフェブリエール

福祉の拠点をみんなで支えてください。

- 法人会費 5,000円
- 一般会費 500円
- 個人会費 2,000円



あなたのやさしさを善意の窓口へ——

善意銀行だより

あたたかい善意をありがとうございました
預託状況(10月31日～11月24日受付分)

赤穂市善意銀行
マスコットキャラクター
ぜんい君 こころちゃん

●委任預託 (敬称略)

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
坂 越	匿名	5,000	車いす借用御礼
福 浦	匿名	5,000	車いす借用御礼

◎善意銀行受付窓口・・・赤穂市社会福祉協議会◎

心配ごと相談所のご案内

(12月20日～1月10日まで)

【一般相談】 12月27日(水) 1月10日(水)

【弁護士相談】(要予約) 12月20日(水)

【カウンセラーによるこころの相談】(要予約)
12月27日(水) 1月10日(水)

※時間はいずれも午後1時～5時までです。
※相談は無料です。

問合せは、下記までご連絡ください。

ひきこもり家族のつどい

- ◆日 時：12月21日(木)
午後1時～4時
- ◆場 所：みんなのいえ
(赤穂市塩屋656-17)
- ◆対 象：ひきこもり状態にある方の家族
- ◆参加費：無料
- ◆問 合 せ：下記までお問合せください。

時間内
出入り自由

申込不要



◎78歳にもなると、日常生活では、緊張感や達成感、ほとんど感じることがありません。7月末、小学生から一般までが参加する、市民水泳大会が開かれました。私も友人と参加し、四種目に挑戦しました。友人が、「あなたが泳いでいる時と後は、どの競技の応援の時よりも、声援と拍手が鳴り響いていたよ」と話してくれました。お世話してくれた体育協会の人々や観覧席の人、一緒に参加した子どもたちに、若いパワーと幸せをいただいた、楽しい半日でした。これからも健康を維持し、参加したいと思っています。

(あーちゃん)

『ひとりごと』募集

(応募方法)氏名(ペンネーム)・年齢・性別・電話番号を明記し、持参・郵送・Eメールのいずれかで応募ください。2000字程度にまとめてください。

※送付先は、下記をご覧ください。

12月1日～
20日

歳末たすけあい運動

～つながり ささえあう みんなの地域づくり～

「歳末たすけあい運動」は、地域住民やボランティア、まちづくり連絡(推進)協議会などの関係機関・団体の協力のもと、誰もが地域で安心して暮らし、あたたかい気持ちで新年を迎えられるよう、住民の参加や理解をいただきながら、福祉活動を重点的に展開するものです。



*** 友愛訪問 ***

対象者世帯に、お弁当やお菓子などを持って訪問します。



*** 三世代交流事業 ***

高齢者と子ども、親など三世代が交流する事業を支援します。



*** 三世代交流もちつき大会 ***

対象者世帯に、おもちなどを持って訪問します。



※写真はすべて前年度



歳末たすけあい運動で寄せられた募金は、上記事業のほか、「要保護・準要保護世帯児童生徒お年玉」「養護老人ホーム・児童福祉施設・障がい者福祉施設(市内)入所者たすけあい金」「赤穂精華園・さくらこども学園教材費」「生活困窮者支援」「ひとり親家庭ランドセル購入助成」「ひとり親家庭中学入学時学生服等購入助成」などの事業へ配分されます。令和5年度は750万円を目標にしています。

■ 編集後記 ■

あっという間に12月を迎えました。つい先日新年を迎えたような感覚で、月日が過ぎる早さを感じます。プロ野球日本シリーズの関西ダービーは、(あ)にとっては、残念な結果になりました。しかし、1試合だけ見に行くことができ、父と一緒に幸せなひと時を過ごすことができました。

また来シーズン!『叶うべき夢の先へ!』

(あ)

ご意見・問合せは

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会

〒678-0232 赤穂市中広267番地
電話 0791-42-1397 FAX 0791-45-2444
E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp

ホームページ
公式・SNSも
ご覧ください!



赤穂市社協

検索



(音声版をホームページに掲載しています。ぜひお聞きください!)

